

広報常任委員会視察報告

先進地等を視察

広報常任委員会は、去る、7月19日から21日の間、長野県小諸市（議会を語る会）、飯綱町（議会モニター）および横浜市に所在する新聞博物館を視察した。

●小諸市

基本条例に基づく議会報告会を懇談会形式へと改革し、さらに現在は「議会を語る会」として独自

●飯綱町

議会日よりモニターの設置および57名にも及ぶモニターのアナウンス調査が町民の町政への要望・予算への反映等につ

の取り組みとして、その手法に、ワークショップ形式を導入し成果を上げていた。また、年度の市の各種課題をテーマとして設定することにより、幅広い年代の参加が得られていた。

●新聞博物館

事前に本市の議会だよりを送付し、紙面評価を受講した。講師からは、写真の使い方、紙面構成について提言を受けた。

議会基本条例に基づく議会改革の継続は、議会としての永遠の課題であり、市民意見の行政への反映と議会のあるべき姿

ながっており、加えて議員活動や議会活動の根幹となっていた。

への追求にある。本市議会としても、目的達成のための一つの手法として議会報告会のあり方について検討を継続しているが小諸市が行っている「ワークショップ方式」は、その手法に於いて次年度以降導入すべく調査検討したい。

また、議会モニターについても実施に向けて要綱等整備する。



▲1は小諸市、2は飯綱町、3は新聞博物館での視察の様子

民生教育常任委員会 所管事務調査中間報告

本委員会では、以下の3件について所管事務調査を行っております。

鳴瀬地区学校再建事業

現在、宮野森小学校・鳴瀬未来中学校が建設中ですが、両校とも計画通り工事が進んでおります。通学路など新校舎周辺の環境整備や鳴瀬桜華小学校の新校舎建設計画についても調査中です。

学力低下対策及び向上のための方策

学力向上については、なかなか成果が上がらず、長年の課題となっております。平成30年からは市内小中学校でのコミュニティスクール事業が実施される予定です。この事業により保護者だけでなく地域の方々も学校運営に関わるようになりますが、子供たちの教育環境がどのように改善され、学力向上に繋がるか調査しております。

少子化対策・子育て支援

牛網新保育所や建設中の野蒜保育所など復旧復興が進んでいます。待機児童や保育士の確保・待遇改善など課題はさまざまあり、解消に向けて調査検討を重ねていきます。また、あおい地区に建設予定の子育て支援センターや、野蒜・赤井南・矢本西地区に建設される放課後児童クラブについても調査対象となります。



▲荒川区視察の様子